



414
A1021

二陸巡回報告書内振筆

陸前陸中地方高況ノ事

福清地方ハ生糸ノ産出ニ富ムラ以テ土地闊ク人稠密ナリ高
估ハ殊ニ高家屬ラ以テ谷アハモノナシト雖モ多クハ生糸産種ノ賣
買ヲ業トシ其次貝産モ稍増活アハモノアリ
生糸及ビ産物ハ産種買取ノ為メ極盛ナリ外西ノ代買ト
稱スル者及ビ其地ノ商人等多ク滞在スル其高事ヲ言メリ
福清近傍ナリ保原村河掛田等ノ各地ハ何レモ高事
勢昌ノ地タリ而シテ高估モ亦多ク居住セリ
阿武隈川ハ福清市街ノ南ヲ横截シテ保原素村ノ間ヲ流
シ陸前ヲ横リ仙石ノ南麓漢ノ於テ海ニ注ク飽トモ海濱ニ港口
ノ便地ナキヲ以テ舟楫僅ニ高直地ノ物取ヲ運搬スルニアリテ
其數モ亦極テ少ナシ

東京

第一國立銀行

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



仙石ハ陸奥ノ中央アリテ市街 廣闊ニシテ人口稠密ナリ
 其ノ數人口拾モ宮城縣内ノ土ニ居ル（縣下ノ戶數ハ拾萬ナリトシテ
 實年七萬八千人ナリト云フ）
 然レトモ高估ハ宮中貴族者流ノニシテ他方ニ西川ヲ開キテ大
 利ヲ謀ルモノナシ且相慶集シテ其ニ坐食スルモノ多シ且居住
 人民純テ工業ノ一ヲ知メサルヲ以テ一ノ製作物ヲ出スモノアルトナシ
 市街ノ西南ハ都ヲ平垣ナル水田ニテ多ク米穀ヲ産スル其
 收穫法ノ精ナラザルヨリシテ米品甚タ下劣ナリ
 野蒜濱市ニ於テ靴工スル新湊製法ノ一ハ米々交分ノ為
 年ニ至ラスト雖モ高厚敷村ヨリ水上川ヲ疏鑿シテ運河ヲ
 濱市ニ通ルノ工事ハ既ニ其地歩ヲ成シ且南門ハ片今存ラ
 造物業ノ央ナリキ
 幸ニ此工事古本局ノ案定テ保ラスシテ築造ヲ局ノ自ニ
 至ラハ陸奥地方ニ高業ノ擴伸ヲ為ルヤ必セリ而シテ此

新湊早々成リ瀟船帆船等老ニ官戶治ニ沿テ輕便
 安快スルヲ得又一方ニ水上川及鴨川ヨリ運搬スル荷物ハ
 濱市地方ニ於テ中船ノ輕便ヲ作ルヲ得ハ實ニ海運搬ノ
 方法ヲシテ全ク四週ヲ改メテ無限ノ收利ヲ開キ其高業ニ對シ
 スルニ亦以テ少クナラザルヘシ
 仰リ而シテ又ニ釜蓋ノ見テ北ノ河或隈川ノ下流荒濱ニ注ク
 ノ地ヨリ海ニ注クニテ又ニ疏鑿ヲ為シ以テ南石巻ニ據ラシメテ
 福清河保原等ノ運路ヲ修シ又水上川及鴨川ノ
 原流ヨリ陸路ヲ別平ニテ兩脚ヨリ産出ノ物亦ヲ運送スル
 ヲ得ルニ於テハ實ニ北濱市ノ益益ヲ與スルニ至ラシ
 此工事一被修スルニ任テ陸奥ノ一湊ニ成リ石巻ハ既テ野蒜
 福清セザルヲ得ザルヲ喜ム人少シ福清ノ方法及新湊ノ倉庫
 修造業ノ經營等ニ於テハ尤モ適者ノ案ナカレハ可ラス

石巻ハ仙臺ヲ距ル十二里程東南有テ在リテ地勢力恰如ク山溪
 口ナリ小上山ハ市街ニ沿フテ流レテ海ニ注ク而シテ其南津
 津村アリ石巻ニ比スルハ人口僅ニ十戸ニ止ルル程モ又小上山
 市街ノ景況アリ石巻ニ居住ノ商估ハ多ク米穀ヲ賣買
 スルヲ業トス然レモ有力者少ク其ノモノアルナシ蓋シ聞ク
 小上山ノ石巻ニ至ルヤ自然ノ河溪ニアルス四藩租伊在
 政宗ヨリ三藩ノ藩者アリテ殊ニ此流ニユラ魚石巻ノ上流
 三里ノ廣瀬村ヨリシテ新夕ニ此大里河ヲ流シテ以テ
 本溪ヲ開始セリト小上山ノ本流ハ廣瀬村ヨリ東流シテ
 流波ト云フ地ニテ海ニ注ク為ル所ニ運河路鑿テ流上
 ルニ亦以テ船想ルニ堪ヘタリ然レモ歟年河日干後程
 大船ノ警備沙ニ停ス故ヲ以テ流船ハ船多ク折ノ流ニ
 在リテ小船ノ船下ニヨリテ貨物ヲ移載ス其不便亦頗

多シ然ラハ則今日野蕪新溪地工ノ下アハ然ク古ク是地
 之ヲ更ニ之ヲ擴充スルモノト云フヘキカ
 石巻ヲ距ル十里程ニテ一大平畑ノ中田アリ大畠耕ト云
 志田志田栗原加茂玉造ノ五郡ニ係ル産出ノ米穀モ其
 田々鳴瀬門江今川迫川等ノ役アリ然レモ地方商估ニ乏シキ
 ヲ以テ農者ハ其辛苦米穀ヲ産出シテ僅ニ糊口ニ充ツト言
 ハシノミ之シテ要スルニ陸前ノ國々土地稔熟ナレトモ田野
 寸草ノ開ケサレテアラズ然レトモ亦少ク四藩租制ノ弊ヲ承クテ人
 絶テ其地強ノ念ナシ其地無ク教為善ノ下ヲ以テ之シテ鈔依
 高火虫也氷者ヲ説クノ想アリ之シテ要スルニ道亦難カナ
 陸中一地方ノ景況ハ之ヲ陸前ニ以テハ少ク優レシト似タリ而
 シテ其商估モ稍少實產出カスルモノナリ然レトモ土地山々樹
 多クシテ平地少ク以テ小上山ニ沿フ地方(盤井)水田里は爲善

及宮古ハテ等ノ優レラ除クハ外ハ船ヲ通船ノ任ヲクク口号ヲ
 以テ其高事ノムルモ之ヲ船票邊トモワリラス但各氏ハ之リ
 知テ念アルニヨリ船進歩ノ徴アルヲ思フ
 盛岡ノ地タル陸中ノ中央ニ在リテ水川ノ原流居ル故ニ舟
 楫ノ便於テハ友ニ河後ノ夜塞ニ苦シムロシ道途ハ平坦ニテ
 其修繕モ平素能ク整理スル不アルヲ思フ而シテ地方
 高估ハ物致をノ心ヲあるニテ以テ高事業日ニ進ムハ快アリ市
 街ノ甚々仕弱チナラスト云ハ屋宅モモ廣クモテ新カ觀操ノ
 般ハヘキモノアリ他日官戸釜石又ハ羽後秋田等ニ進ムノ道
 路ヲ平ニテ車馬ノ色運ヲ開クニ於テハ又其進歩ヲ思フ
 至ラニ

水上川ノ水橋ヲ修メ冬日水減スルノ時モ尚河ニ航スルノ汽船ヲ
 浮メ以テ黒澤所ヨリ野蒜新橋ニ進セムルノ快アリモ其
 工事ノ後成スル果シテ其言ノ如クニテ加ニ若キ而テ秋田ヨリ在
 るノ道途果通スルヲ得ハ其貨物ハ船ヲ運累ノ地ヲ經ラセザル
 モ同地ノ高況ヲ以テ大ニ増進セムルニ至ラカ

東京

第一回 銀行